



TWEET

トイトレ“プチ”奮闘記

子どもが一歳半頃になるとちらほら耳にするトイトレトレーニング、略してトイトレ。早い子はその頃から始めるとか。でもウチは急ぐ必要もないし、そのつもりもない。トイトレの苦労話はよく聞いていたので先延ばしにしていた。月日が経って子どもが二歳半の春。いわゆる、トイトレ絶好のチャンス！気は重いけど、少しずつ始めてみることにした。

まずは、時々トイレに連れて行って補助便座に座らせる。もちろんおしっこは出ない。頑張りすぎないように時間・気持ちの余裕があるときにそれを実行した。しかし、『おしっこ出ない記録』が更新されるだけで何の進歩もなかった……。

次に、おしっこを漏らす練習、をさせてみた。布のパンツをはかせて、漏らすと気持ち悪い事をわからせるために。濡らされて困るものは片付ける、もしくは高いところへ。予定通りあちこちで漏らされまくり、時にはとーちゃんの足にも……。最初は後始末の要領が悪く、慌てまくった。でも3日も経てば子どもの「漏れた……」の声にも「はいはい、今度はどこですか〜」と少し余裕も。パンツと床以外濡れるものがないと、意外とストレスにならなかった。普段拭き掃除をあまりしない私は、漏れた箇所を拭く度に雑巾が真っ黒になるのを見て、「至る所で漏らしてくれたら部屋中きれいになるやん(´^`)」などと少し楽しめたりもした。しかしそんなお気楽な事を思っている間も『おしっこ出ない記録』は更新され続け、さすがに嫌になってきた。一応の成果として、オムツにおしっこした時も「漏れた……」と報告してくれるようになったが、トイレでおしっこは無理だった。成功するイメージが全くわかなかったので一旦トイトレは中止した。

初夏になり洗濯物も乾きやすくなった頃、気持ちの充電が完了した私は、トイトレを再開した。

なぜかお風呂ではおしっこが自由自在に出ていたので、お風呂にオマルを持って行って見たが、オマルに座ると一滴も出ない。普通に立たすと2秒で出るのに……。なぜ？

おしっこの出し方は分かっているのだから、あとは心理的な問題？う〜ん、悩む……。

お風呂＝おしっこ、ではなく、オマル＝おしっこ に切り替えさせればいいのだろうか。と、いう事で次に私がとった行動は、お風呂でおしっこを出させた直後に、オマルでおしっこを拾う、というものだった。

早速、子どもをお風呂に誘い、「しーして〜」と言った。1・・・2秒、出た！今だ！私はすかさずオマルをおしっこの方へ。子どもは驚いた顔で私を見た。「かーちゃんは何をしてるんだ？」といった心境だろうか。「今度からここにしーしてよ〜」とフォローし、その日は終了。

翌日、またお風呂に誘い、「しーはここにしてお〜」とオマルを差し出した。座ると出ないようで、中腰でオマルを斜めにすると……。出た！オマルにしー出来た！お風呂だけどオマル。半歩前進としよう。ならばこのオマルをトイレに持って行けば……。希望の光が見えてきた。そして実行にうつした。

トイレに誘い、オマルを斜めに立て「しーどーぞ〜」……。出た！できるやん！私はそれをしばらく続けた。実家に行く時もいちいちオマルを持って行った。

ある時ふと実家にも補助便座があることを思い出し、母に聞くと家の外に放りっぱなしだと……。私はそれをきれいに洗い、試しにに座らせてみようと思った。子どもは初めてみるピンクの便座に興味を持ったのか、すんなり「すわる〜」と言い出した。「はい、しーどうぞ〜」……。あれ、いつもと顔つきが違う。何やら集中しているよう……。

え？出たけど？おしっこ出たけど—————！！すごい！やればできるやん！！これでウチの補助便座でも出るだろう。私はそう確信していた。……。が、甘かった。出ない！出ないじゃないか！なぜだ！実家では出たのに……。何が違う？便座か……。あの便座なら出るのか？まさかねえ……。

と、思いながらもとりあえず試せる事は試してみた。早速実家からピンクの便座を持ってきて、座らせた……。おや？顔つきが変わった。あの時と同じ集中の顔だ。え？出た！おしっこ出た！嘘やん！！なんでなん？この便座なに？魔法の便座か？こんな宝が実家に眠っていたなんて！！しかも野ざらして……。

それ以降、補助便座でウチでも実家でもおしっこが出るようになった。ここまで長い道のりだった。いや、まだトイトレは完了していないのだが、私はかなりの達成感を感じていた。この先の『出る前に「おしっこ〜」』のハードルが高いことも知っているが、私のトイトレ前編が終了して、気が楽になった。後編は梅雨が明けたら始めよう。布パンで漏らし続けたら、自ら「おしっこ〜」と言い出すようになる、という信じがたい、都市伝説のようなものを信じて……。

柚子ママ

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！